

令和3年1月25日

宮崎県透析災害時情報ネットワーク
透析施設連絡責任者 様

宮崎県透析医会 会長 藤元昭一
同会 理事 澤野文俊
(感染対策担当)
同会 理事 盛田修一郎
(災害対策担当)

(一社)宮崎県臨床工学技士会 代表理事 福元広行
同会 理事 兵庫一洋
(災害対策担当)

COVID-19 透析患者に伴う人的支援に関するアンケートのお願い

謹啓

COVID-19 感染患者が、県内でも日毎に増加傾向にあります。

一度透析施設で新型コロナ感染患者が発生しスタッフにまで感染が広がり隔離処置や自宅待機となると直ちにその施設はスタッフ不足になります。

また、残されたスタッフには、過酷な勤務条件を強いられ宮崎県透析医療の崩壊を招きかねないと思われます。

このような事態を回避する為に、人的支援システムの構築が急務であり、感染拡大防止の観点から、県内完結型の支援体制が求められます。

しかし、透析業務は、業務の特殊性から一般のボランティア活動とは異なり、その職能的な技術が要求され。また二次感染というリスクから適切な人員を派遣する為には、人員要請側と支援側とのコンセンサスに基づいた相互関係(互助会的)が最重要となります。

したがって、新型コロナ感染に伴う透析室へのスタッフ派遣の基準を決める参考意見を広く求めることになりました。

どの施設も人員ギリギリの状態では無いとは思いますが、感染拡大に伴いスタッフ罹患による突然の人員不足はどこにでもいつでも起こりえます。

以上、本アンケートへのご理解と屈託のないご意見をお願いします。

謹白

回答期限:令和3年2月6日(土)まで

回答方法:①FAX(0984-44-0629)もしくは②E-mail: hirata@nojiri-ch.com